



子どもの「いまっ！」を撮る方法

～成長を見返す素敵な子どもの写真を撮影する～



軽量・コンパクト
ボケにくい
小さい



サイズ
ボケ
プリントサイズ



大きい
ボケやすい
大対応



カメラを向ける角度で写真が変わる

撮影する時に被写体に対するカメラの位置や角度（アングル）を変えるだけで写真に差が出ます。

基本は「子どもの目の高さ」で撮影しよう。

POINT

目線の高さまでしゃがめば
イキイキした表情をとらえる
ことができます。



POINT

背景もキレイに写る
カメラアングルを探そう



★スマホで低いアングルはひっくり返して撮影 ^^

構図のバリエーションを作る

<日の丸構図>

画面の真ん中に被写体を配置する構図。真ん中へ配置することでストレートで力強い写真になります。

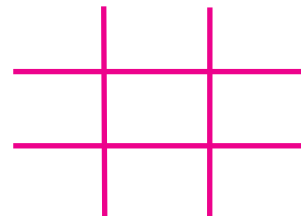


<三分割構図>

「三分割構図」は写真の縦と横を三等分にして結んだ線の交わったところに被写体を配置する構図です。風景や背景と一緒に撮るときにオススメです。

POINT

スマホのグリッド表示で
もっと簡単 ^^



<「ヨコ」と「タテ」>

SNS、ネットなどではいろいろな端末から見る可能性があるので、ヨコ写真が多いようです。ただ、ヨコ写真とタテ写真では印象が変わるので、使い分けてみましょう。

ヨコ 自然な印象、その場の雰囲気が伝わる。

タテ 被写体を強く見せる効果。高さ奥行きを表現する。

縦に長いもの
(全身撮影なども)



<奥行きも意識してみる>

背景に奥に続く空間を入れて、奥ゆき感を感じられると素敵な写真になります。

POINT 背景が離れるとボケも大きくなる。

キラキラした子どもの写真を
撮影したいなら「逆光」
がおすすめ。

光の向きと特徴

撮影に光は大切です。

被写体に対して、光の当たる向きによって印象が変わります。

- * 順光・・・被写体の正面から光が当たる
(色や形がはっきりするがのっぺりとした印象)
- * サイド光・・・被写体の横から光が当たる
(力強さ・カッコよさがでる)
- * 逆光・・・被写体の後ろから光が当たる
(透明感や透明感が出る。キラキラした光で包まれたような写真が撮れる。)



サイド光



逆光



サイド光



順光

★逆光での撮影時には、顔が暗くなりがちなので
明るさ調整して撮影！

スマホでキレイに撮影するコツ

1. ピント合わせとグリッド表示
2. ズームはできるだけ明るいところで撮影しよう
3. ローアングルはスマホを逆さにすると撮影しやすい
4. 動きがある時は連写で撮影して選ぼう
5. ボケ味を上手く使おう



ポートレートモード使用なし



ポートレートモード使用

ありのままの日常が未来の宝物

SNS 映えするような、写真もよいけれどその時の生活感を感じられる写真、ママやパパに見せる何気ない一瞬や表情をたくさん残してあげると、成長した時に懐かしく大切な思い出になります。

ぜひたくさんの写真を残してあげてください。

容量無制限 Google フォト (<https://photos.google.com/>)・・・1,600 万画素相当にリサイズされ、圧縮もかかる

Amazon Photos (アマゾンプライム会員無料)・・・圧縮されません

icloud(5GB、50GB で 130 円)

conomama*photo (コノママフォト)